

12月4日～10日は人権週間!

特設人権相談

—市役所で午後2～4時—

9日

(火)

午前11時～正午 東口自由通路で

啓発活動を実施

12月4日(木)～10日(水)は「第55回人権週間」として各種行事が行われます。

◇街頭啓発活動

▽日時 12月9日(火) 午前11時～正午
▽場所 海老名駅前東口自由通路

◇特設人権相談

相談は無料で秘密は守られます。お気軽にどうぞ。

▽日時 12月9日(火) 午後2時～4時
▽受付場所 市民

●人権擁護委員

◆大西幸道氏 国分北2-13
40、☎231-5074

◆尾上高穂氏 中河内1-19
1、☎238-3834

◆鴨志田英江氏 大谷3-35
☎232-6633

◆近藤淑子氏 中野395、☎238-3947

◆土屋喜良氏 柏ヶ谷383、☎233-1982

◆山田憲政氏 中新田152、☎232-6633



思いつくままに

2期8年、本当にお世話になりました。また、この「思いつくままに」の随筆もこの号で最後となりました。ご愛読ありがとうございました。よく担当者から原稿の催促はされたものの、書くということには、さほど抵抗を感じることはありませんでした。と言いま



8年間の思い出

すのも、身近な出来事を、飾らずに文字通り「思いつくままに」に書き連ねただけでしたから…。ただ、あと200字は書かせて欲しいなど、いつも思っていました。私が私にとって、この8年間の良い思い出のひとつが、この「思いつくままに」の執筆でし

た。そう思ったのは、全く知らない人から随想の内容のことで励まされたり、「いつも楽しみにしています」というお便りをいただいたりすることが多かったからです。この5月頃に、随想を小冊子にまとめてみました。自分でいうのも変ですが、意外と評判が良く、今はもう手元には1冊もありません。来年1月末に「自分史」としてまとめている最中ですので、乞うご期待?というところ

任期満了で今月23日(実際は22日)に引退します。「淋しさはない」といえば嘘になることは確かですが、思えば8年前の混乱期に、自ら進んで手を挙げた訳ではなく、推されてしまったこの仕事。マラソンの有森さんの言葉ではありませんが、「自分を褒めてやりたい」。そして、「我が人生に悔いなし」と声高らかに口ずさみつつ降壇します。本当にありがとうございました。この仕事をしていたからこそ知り得た知人、友人、仲間感謝しつつ。海老名市長 亀井 英一

交通安全・防犯金賞入賞ポスター



低学年・山本芹奈さん

交通・防犯

=第22回市民のつどい=

功労者と入賞者表彰

市民活動課(内266)



中学年・山本愛理さん



高学年・鈴木奈緒さん



中学年・鈴木裕也さん



高学年・寺田 愛さん

第22回海老名市交通・防犯市民のつどいが、10月26日市役所401会議室で開かれました。この席上、交通安全・防犯に功労のあった方が表彰を受けました。受賞者の名称(氏名)は次のとおりです(敬称略・順不同)。

【交通・個人】 山本武久(国分南)、木島濱治(国分北)、近藤実(国分北)、渡邊貞夫(国分北)、井上利雄(国分南)、鈴木進(国分南)、鍵渡武夫(上郷)、小島孝幸(上郷)、高柳稔(下今泉)、渡邊秀夫(下今泉)、高橋正己(下今泉)、五嶋豊次(杉久保)、高橋輝由(杉久保)、村山清司(杉久保)、金子秀徳(社家)、大貫正明(門沢橋)、盛島由二(門沢橋)、大矢昇(横浜市) 〓多年にわたる交通安全活動に貢献し

た功績。 【交通・団体】 海老名市交通安全協会門沢橋支部、株式会社NNT・ME神奈川湘南支店、厚木サーブス 〓多年にわたる交通安全活動に貢献した功績。 【防犯・個人】 荒川速雄(下今泉) 〓多年にわたる防犯指導活動に貢献した功績。 【防犯・団体】 国分メッシュ安全活動推進協議会(国分北)、優成サーブス株式会社(国分南) 〓地域の防犯指導活動に貢献した功績。 【ポスター249・標語382点応募】 また、海老名市交通・防犯市民のつどい実行委員会では、交通安全・防犯の啓発活動の一環としてポスターと標語の募集を行いました。ポスターは市内小学校13校から249点、標語は市内中学校・高校から348点、一般から34点の応募があり、表彰が交通・防犯市民のつどいの場で行われました(敬称略)。

【交通安全賞】 〓小学生の部 入選 下川床未来 〓小学生の部 応募なし 〓一般の部金賞 坂川大輔(日立)。 【防犯標語】 〓中学生の部 入選 下川床未来 〓小学生の部 応募なし 〓一般の部金賞 坂川大輔(日立)。 【防犯標語】 〓中学生の部 入選 下川床未来 〓小学生の部 応募なし 〓一般の部金賞 坂川大輔(日立)。

環境まめ知識 ⑧

◆アイドリングストップ◆

アイドリングストップとは、秒以上見込まれる時に行くと効駐停車時の自動車のエンジンを停止することで、ガソリン消費を抑え、有害物質の排出を抑止することが出来ます。自動車の燃料は家庭におけるエネルギー消費量の約半分を占めるといわれ、消費を少なくする心がけが大切です。自動車は走行していなくてもエンジンがかかっていると、絶えず燃料を消費します。駐停車時にエンジンを切ることは、最も確実な燃料の節約になります。物の積み下ろし、ちよつとした買い物、送迎時の待ち時間など、エンジンをかけたままにしていますか?アイドリングストップは自動車の停止が5～20秒以上見込まれる時に行くと効果があるとされます。周囲の交通状況にもよりますが、1分以上自動車が停止すると思われるときにはアイドリングストップを心がけてみてはいかがでしょうか。寒い朝には、出発前にエンジンをかけ、車を暖めたりしますが、最近の自動車は長時間の暖機運転は必要ないといわれています。フロントガラスに霜が降りている時はエンジンをかけて溶かすのではなく、スクレイパーなどでかき落とし、あらかじめガラスを布で覆って凍結を防ぐなど、エンジンを無駄にかけないよう工夫しましょう。こまめにエンジンを停止し、

1日10分で年間約5000円節約

1日10分のアイドリングを無くせば年間約51円、金額にして約5000円の節約になります。新しく自動車を購入する際には、できるだけ燃費の良いものを選ぶことで、アイドリングストップの実行とあわせれば、燃料消費がぐつと少なくなります。最近では全自動でアイドリングストップをする乗用車も市販されています。環境にも家計にも優しいアイドリングストップ。今日からぜひ心がけてみてください。

●「ステッカー」差し上げます

市ではアイドリングストップを実行する方に、アイドリングストップステッカーを差し上げています。ご希望の方は環境保全課まで。 〓 同課(内53)。

「ボクの席」ママのひざから チャイルドシート(結城里美) 2. 防犯 防犯は、地域ぐるみで声を掛けよう(下川床未来) あなたのやさしい一言で、なくそう少年犯罪の芽(坂川大輔)。